



中部電力

資料 5

浜岡原子力発電所の現況について

2026年7月9日

- 1 浜岡原子力発電所の状況**
- 2 基準地震動策定に係る不適切事案
を踏まえた対応について**
- 3 1,2号機 廃止措置の状況**

1 浜岡原子力発電所の状況

浜岡原子力発電所の状況

1号機

2号機

廃止措置中
(2009.1.30運転終了)

2015.2 燃料搬出 完了
現在、原子炉領域周辺設備および
原子炉領域解体中

※ 2024.12.25 第3段階（原子炉領域解体撤去期間）へ移行

5号機

安全性向上対策実施中

新規制基準への適合性確認審査
申請準備中

3号機

4号機

安全性向上対策実施中

新規制基準への適合性確認審査
(2015.6.16 申請) (2014.2.14 申請※)

※ 2015.1.26 使用済燃料乾式貯蔵施設に係る記載を追加するため申請を取り下げ、
同日再申請を実施

使用済燃料乾式貯蔵施設

設置変更許可申請審査
(2015.1.26申請※)

※ 「4号機新規制基準適合性確認審査
に係る発電用原子炉設置変更許可
申請書」に追記

* 現在、基準地震動策定に係る不適切事案に伴い、3, 4号機の審査は中断中。

2 基準地震動策定に係る不適切事案 を踏まえた対応について

基準地震動策定に係る不適切事案を踏まえた対応について

中部電力

- 本事案について、現時点で判明している事実を踏まえ、当社として改善すべき事項について、整理し取り組みを進めています。
- また、調査委員会による調査結果も踏まえた対応を速やかに検討し、全社を挙げて取り組んでまいります。

＜現時点で判明している事実を踏まえた取り組み＞

対応状況

①意識・行動の変革として

- 原子力本部では、原子力本部長からメッセージを3月31日に発信し、コンプライアンス教育等を実施している。
(5月中旬より原子力本部全員（約1130名）に対して、コンプライアンス、業務プロセス、技術者倫理に関する教育を計約60回実施中)
- 全社大では、中部電力グループ行動規範(Core Values)を4月28日に策定し、社長からのメッセージ動画発信(6月1日)等の周知をしており、今後、専門家による講演や研修、ディスカッション等を通じて、意識・行動の変革を図る。

②組織・組織風土の変革として

- 原子力本部では、他部門出身の副本部長による原子力部門の風土改革を推進中。運用ルールの整備やけん制等の実運用を4月より開始。部門内外の連携強化等を継続的に実施。
- 「若年層による将来の中部電力グループに関する施策の検討・立案と経営層への提言、それを踏まえた施策の展開」について活動できるよう準備中。

③ルール・仕組みの強化として

- 独立した品質保証組織や内部監査の強化について検討中。

(参考) 中部電力グループ行動規範 (Core Values)

中部電力

- 中部電力グループ行動規範 (Core Values) は、企業理念を実現するため、中部電力グループの役職員一人ひとりが日々の業務において具体的にどのように行動すべきか示したものです。
- 日々の業務において直面する場面 (テーマ) を想定し、以下5つのグループに分類したうえで、それぞれとるべき行動を定めています。

<内容例>

1-1 公正かつ自由な競争

私たちは、公正かつ自由な競争の重要性を認識し、独占禁止法等に違反する疑いを持たれる行為を行わないとともに、一般送配電事業の中立性を確保して行動します。

- 社内規程により認められる場合を除き、競合他社との接触は行いません。
- 競合他社と接触する際は、社内規程に則り、販売戦略、価格、契約条件、お客さま情報等の機密情報に関する不適切な情報交換を行いません。
- 行為規制に関する法令、ガイドライン等に基づき、情報の目的外利用や差別的取扱い、不当な影響力の行使の禁止等、一般送配電事業の中立性を確保することの重要性を正しく理解し、行動します。

1 公正・誠実な行動

私たちは、公正・誠実な行動の重要性を理解し、社会の良識と高い倫理観を持って日々の業務に取り組みます。

- ① 公正かつ自由な競争
- ② 適正な許認可取得
- ③ 腐敗行為の禁止
- ④ 利益相反行為の禁止
- ⑤ 適正な会計処理・税務対応
- ⑥ 資産の適正な管理・活用
- ⑦ 反社会的勢力の排除
- ⑧ マネーロンダリングの防止

2 お客さまのための行動

私たちは、お客さまの声に耳を傾け、誠実さと思いやりを持ちながら、先端技術を最大限に活用してイノベーションを起こし、お客さまの期待を超えるサービスの提供を続けることで、企業価値のさらなる向上を目指します。

- ① エネルギーの安定供給
- ② 価値あるサービスの提供
- ③ お客さま情報の適正な取扱い

3 ビジネスパートナーとの適切な関係

私たちは、ビジネスパートナーの皆さまと協同し、サプライチェーン全体の共存共栄を目指します。

- ① 公平・公正な取引
- ② 不適切な接待・贈答の禁止

4 社会の信頼を得る行動

私たちは、自分自身の行動が社会からの信頼を支えていることを自覚し、社会の持続的発展に貢献していきます。

- ① 地域社会への貢献
- ② 地球環境の保全
- ③ 適正な情報管理・公開
- ④ インサイダー取引の禁止

5 職場における行動

私たちは、すべての役職員が自己実現を追求し、互いに協力しながら、最大限の成果を生み出す組織を目指します。

- ① 人権の尊重
- ② 安全・健康の確保
- ③ インクルーシブな組織の実現
- ④ ハラスメントの禁止
- ⑤ 労働慣行 (労働時間、労働環境)
- ⑥ サイバーセキュリティの確保

中部電力グループ企業理念

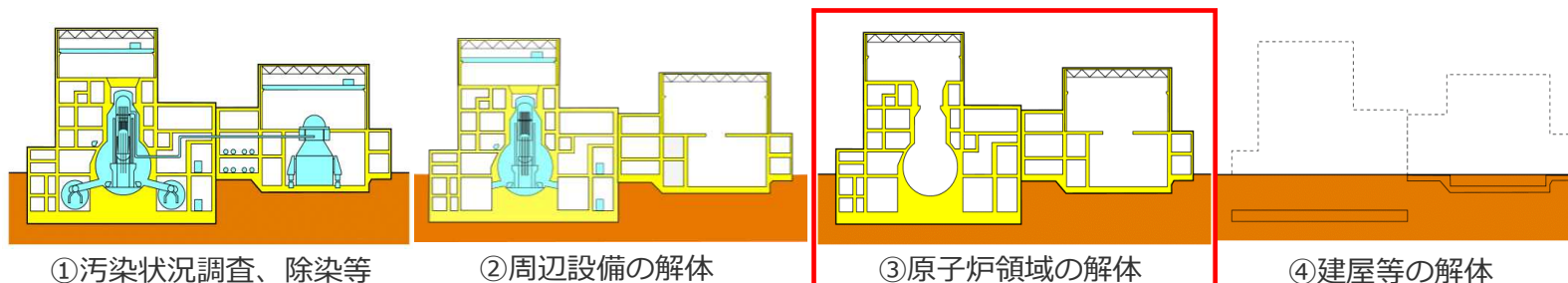
人と社会のつながりを、
幸せのエネルギーに

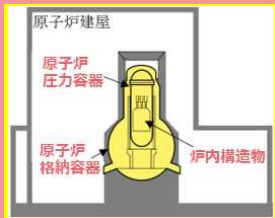
わたしたち中部電力グループは、
人と人、人と社会をつなぎ、
お客さま・地域そして地球でくらすみなさまとともに、
エネルギーに満ちた明るく幸せな未来の創造に挑戦し続けます。

3 1, 2号機 廃止措置の状況

1, 2号機 廃止措置

1,2号機の廃止措置計画は、以下の4段階に分け、約34年という年月をかけて実施します。
2024年12月より第3段階に入り、商業用軽水炉では国内初となる原子炉領域の解体を進めています。



第 1 段階	第 2 段階	第 3 段階	第 4 段階
解体工事準備着手	原子炉領域周辺設備 解体撤去着手	原子炉領域 解体撤去着手	建屋等 解体撤去着手
2009年度～	2015年度～	2024年度～	2036年度～
使用済燃料搬出完了（2014年2月） ▼ ▼新燃料搬出完了（2015年2月）			完了目標 （2042年度）
燃料搬出			
汚染状況の調査・検討			
系統除染			
放射線管理区域外の設備・機器の解体撤去			
原子炉領域周辺設備解体撤去			
		原子炉領域解体撤去	
			建屋等解体撤去
放射性廃棄物の処理処分（運転中廃棄物又は解体廃棄物）			

解体撤去物量の見通し(第2段階以降に着手するもの) 中部電力

第2段階以降、放射線管理区域内の解体撤去工事を順次進めています。

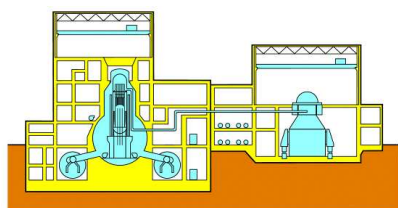
				2015～2023	2024	2025	2026	2027～2035	
解体工事	原子炉領域 周辺設備	1号機	原子炉建屋	原子炉格納容器内等解体 非常用炉心冷却系解体 サブプレッション・チェンバ解体 原子炉格納容器解体					
			タービン建屋	タービン本体解体 給水加熱器・復水器解体					
		2号機	原子炉建屋	原子炉格納容器内等解体 非常用炉心冷却系解体 サブプレッション・チェンバ解体 原子炉格納容器解体					
			タービン建屋	タービン本体解体 給水加熱器・復水器解体					
	屋外・排気筒			主排気ダクト・排気筒解体 屋外設備解体					
	原子炉領域	1号機	原子炉上蓋解体 → (原子炉解体準備 (床整地他)) → 原子炉解体						
		2号機	原子炉上蓋解体 → (原子炉解体準備 (床整地他)) → 原子炉解体						
	解体撤去物量(トン) (2026年度は計画値)				12,900【実績】	1,300	1,900※	1,000	順次計画
	第2,第3段階での推定発生量：39,000								

※2025年度当初計画は1300トン

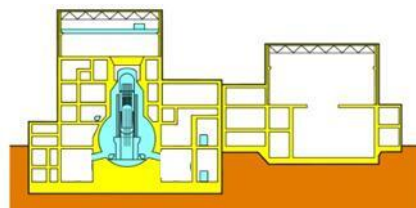
第3段階の解体対象設備

第3段階では、原子炉領域である炉内構造物や原子炉圧力容器等および原子炉領域周辺設備である原子炉格納容器を解体します。

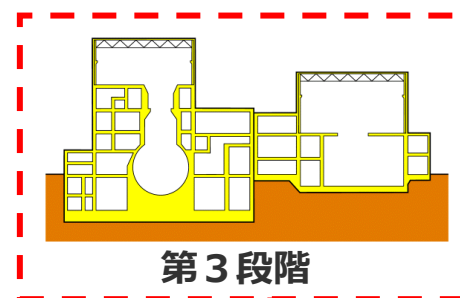
発生する廃棄物について廃棄先が決まるまでの間は建屋内に安全に保管していきます。



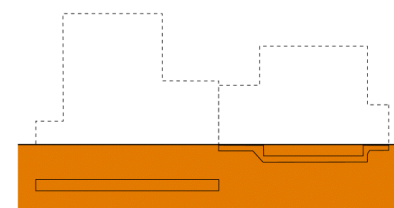
第1段階



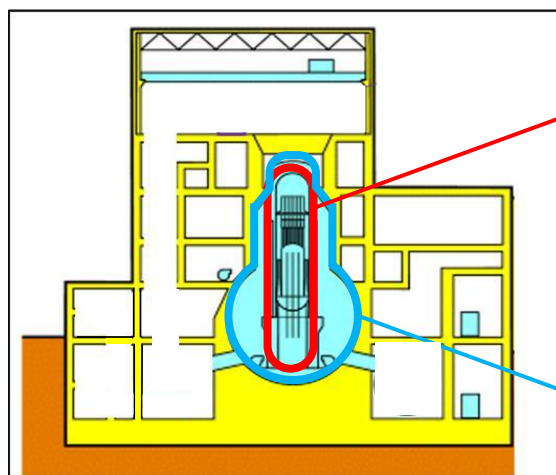
第2段階



第3段階



第4段階



<原子炉領域>

- ・炉内構造物
- ・原子炉圧力容器
- ・原子炉圧力容器を取り囲む放射線遮へい体

<原子炉領域周辺設備>

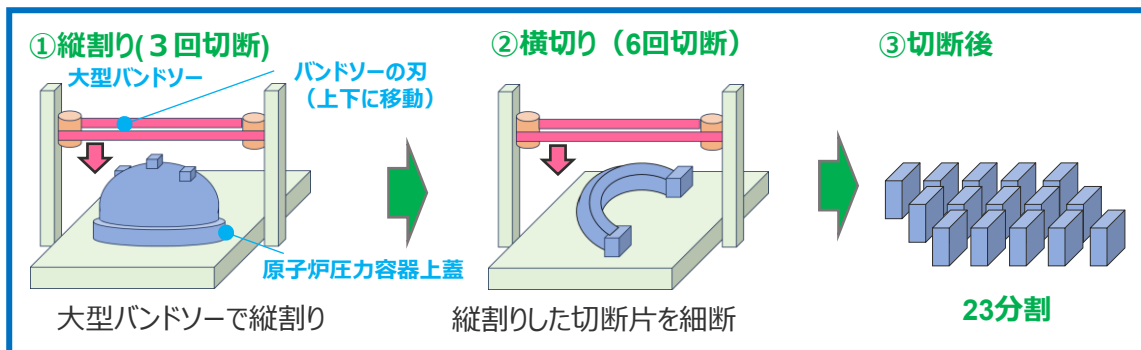
- ・原子炉格納容器

1, 2号機 原子炉压力容器上蓋の解体

1, 2号機の原子炉压力容器上蓋について大型バンドソーを用いて解体を行いました。

- 2号機は、2025年3月17日に着手し、2025年6月3日に解体を完了しました。
- 1号機は、2025年10月7日に着手し、2026年2月20日に解体を完了しました。

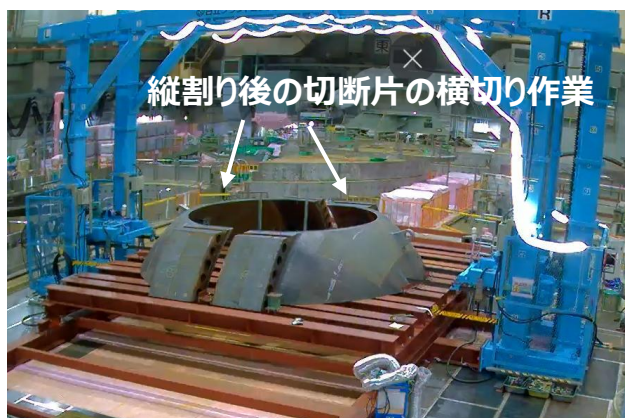
2号機原子炉压力容器上蓋の解体作業の流れ



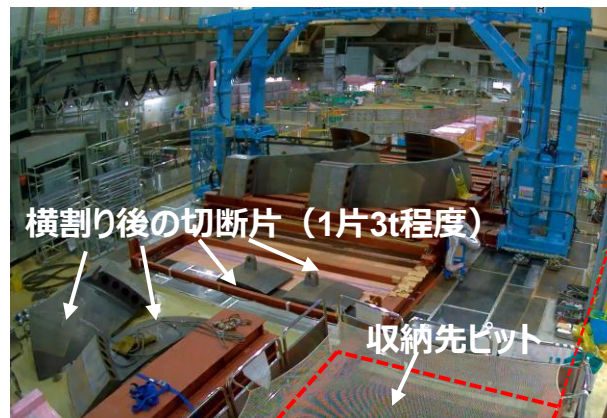
大型バンドソーへの設置



切断作業着手



縦割り後の切断片の横切り作業



横割り後の切断片(1片3t程度)

収納先ピット

横割り作業 計5回の横割りを実施(23分割)



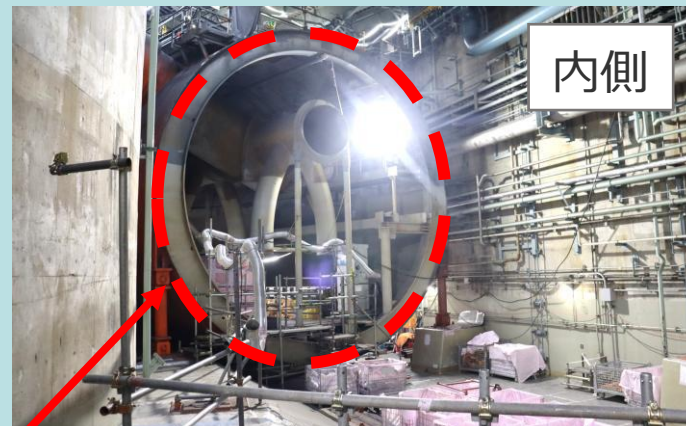
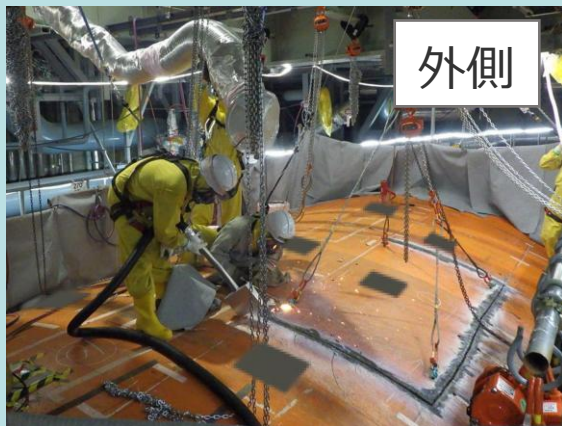
解体物は近傍のピット内へ収納

2号機 サプレッション・チェンバ解体(原子炉領域周辺設備)

中部電力

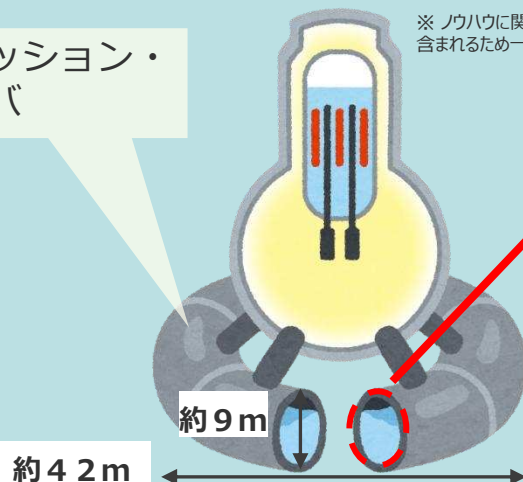
2024年3月より2号機サプレッション・チェンバの解体に着手し、2026年2月に、解体が完了しました。
(解体物の除染等は継続中)

2号機サプレッション・チェンバ撤去（原子炉建屋内）



サプレッション・
チェンバ

※ ノウハウに関する事項が
含まれるため一部加工しています



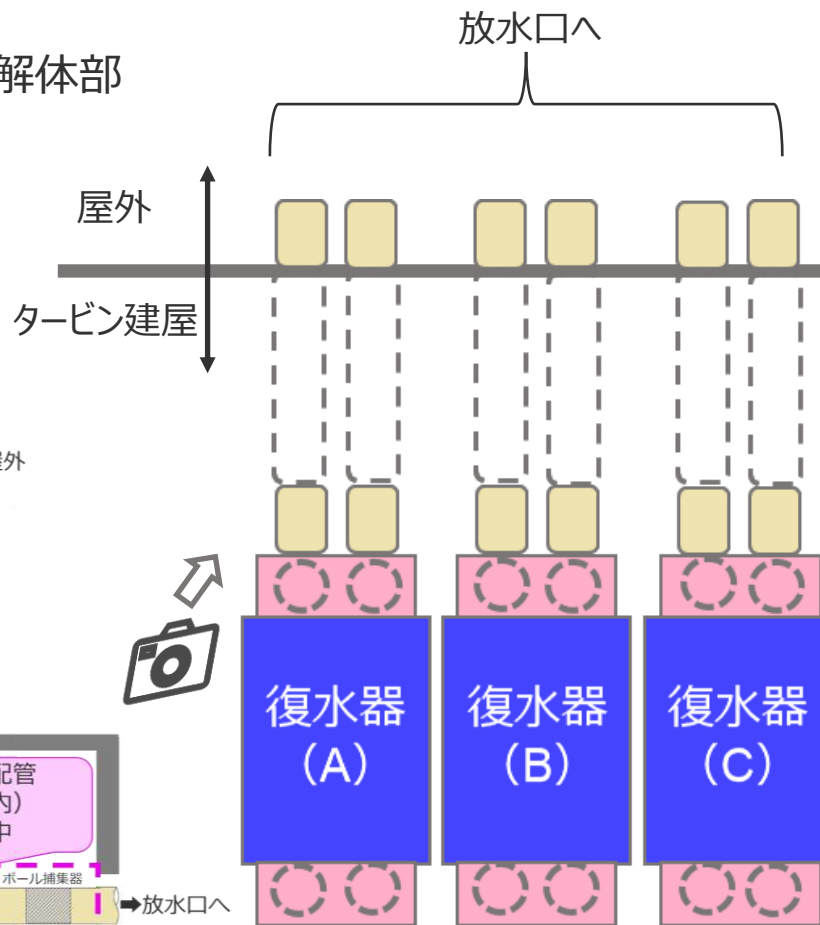
2号機 循環水配管解体（原子炉領域周辺設備）

2025年11月より循環水配管の解体に着手し、現在、解体作業を進めています。

<凡例>

⋯⋯⋯：循環水配管解体部

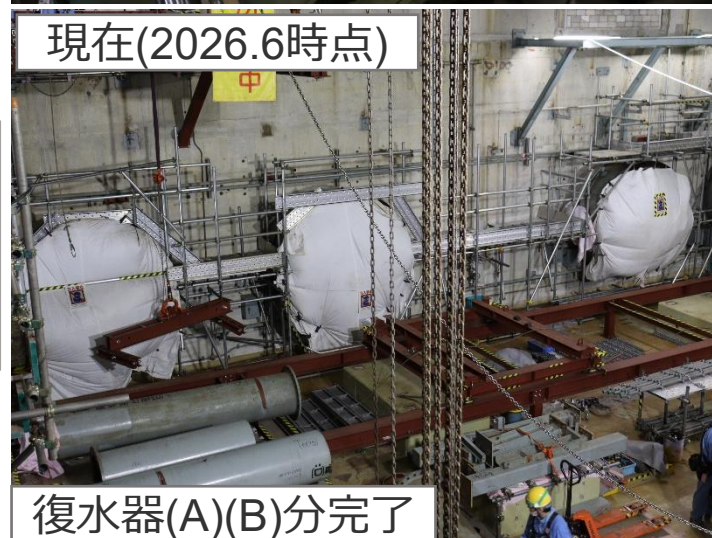
■：循環水配管



解体前



現在(2026.6時点)



復水器(A)(B)分完了

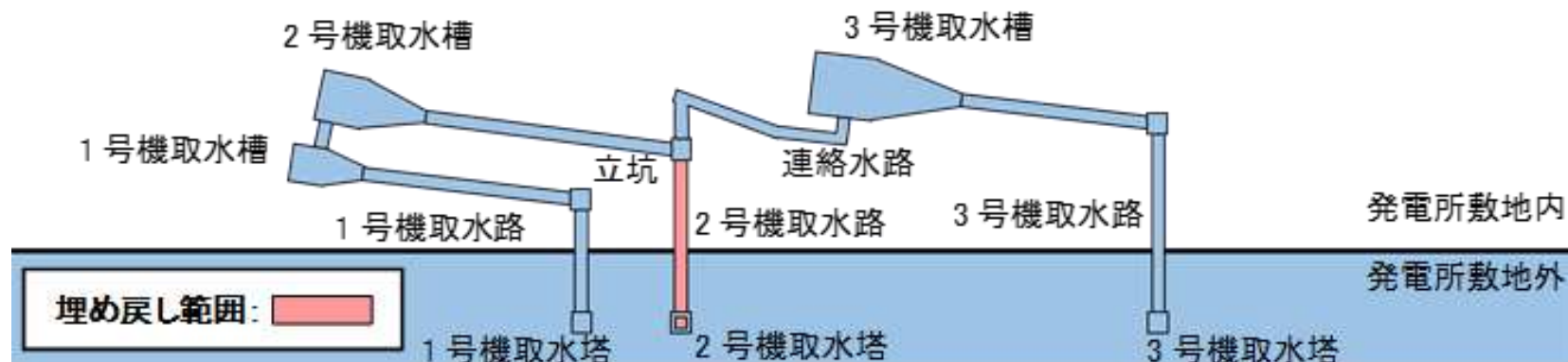
<断面図>

<平面図>

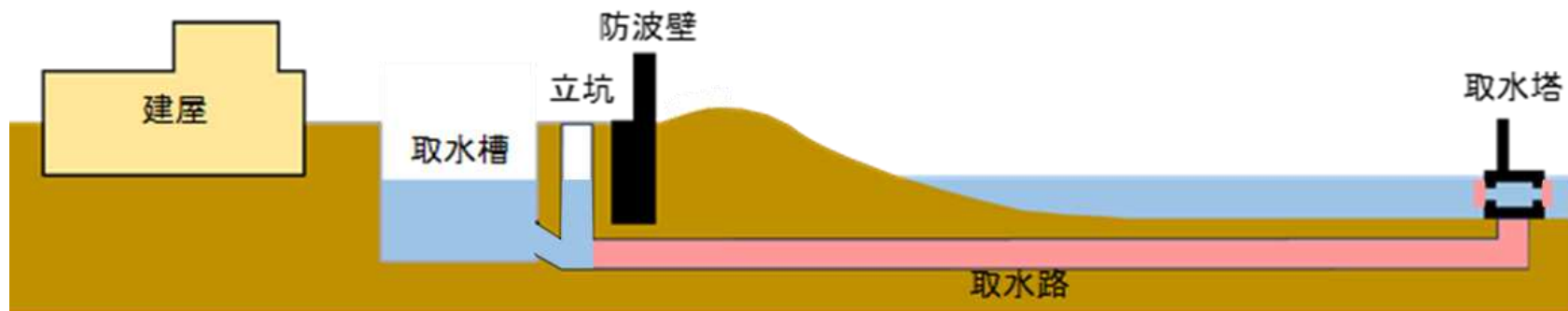
2号機 取水路の埋め戻し工事の着手

廃止措置工事に関連して実施する海岸法および国有財産法に基づく取水路の埋め戻しならびに取水塔の撤去のうち、2号機取水路の埋め戻し工事について、2026年2月3日より工事に着手しました。

＜2号機取水路の埋め戻し範囲 平面図＞



＜2号機取水路の埋め戻し範囲 断面図＞



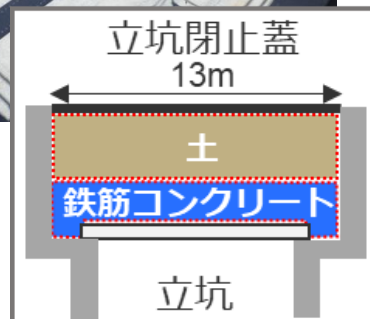
2号機 取水路の埋め戻し工事 進捗状況

埋め戻しに先立ち、取水路内を排水するため、ダイバーにより取水槽側を止水しました。取水路内にアクセスするため、立坑閉止蓋を撤去しています。今後は、取水塔の埋め戻し作業を開始します。

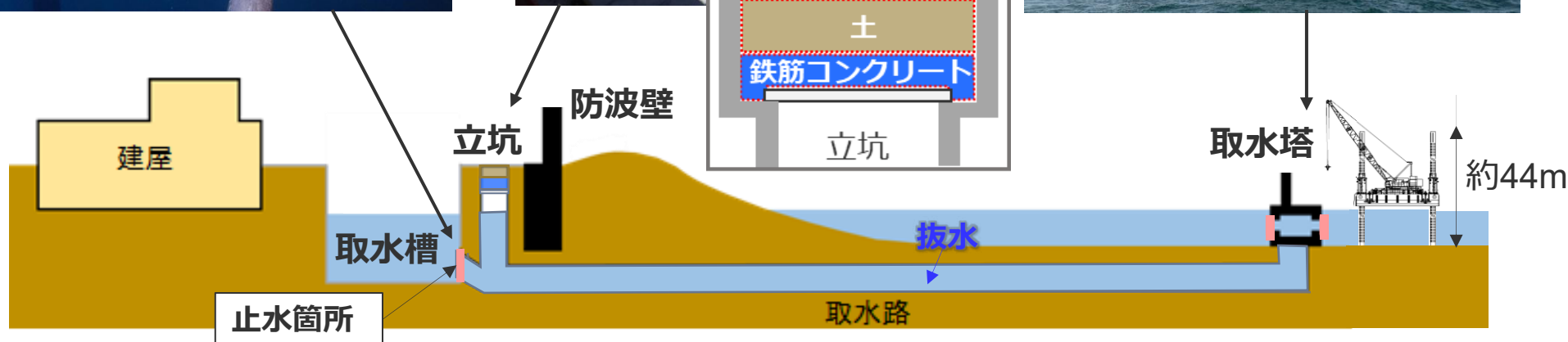
ダイバー作業の様子



立坑閉止蓋
(現在の状況 (2026.6時点))



取水塔付近の作業船の様子



- 国内初となる商業用軽水炉の原子炉領域の解体撤去（第3段階）を実施しています。
- 引き続き、安全かつ効率的に解体工事を進めてまいります。

